

令和7年1月8日発行



こぶし

学校だより 1月号
東久留米市立第十小学校
校長 大澤 宏史

「人生の本舞台は、常に将来に在り」

副校長 菅原 康人



新たな年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年、子供たちはどのような夢や目標をもったでしょうか。授業中に発言すること、文字を丁寧に書くこと、計算を間違えずに解くこと、二重跳びをマスターすること、友達と協力し合うこと、好き嫌いをなくすこと、遅刻をしないこと・・・具体的な夢や目標をもち、その実現のための努力をし続けることはとても大切です。決めているなければ、ぜひ話し合う機会をつくっていただければ、と思います。さて、頑張ったことが、すぐに結果として現れてくれたらよいのですが、努力してもなかなか目に見えるような結果として現れないことがあります。しかし、何事も、努力した過程が大切です。無駄なことは、ひとつもありません。5年先、10年先、子供たちが中学生、高校生になったとき、成人したときに、「あの時の努力が今に生きている、あの頑張りがあったから実を結んだ」ときつとなります。その姿を想像し、私達、大人は、教育し続けるのです。大きくなったときに、自分の足でしっかり立ち、自律・自立した人になっている、それが私達大人の願いです。その時のために、学校では、毎日毎日指導を繰り返し、毎日毎日声掛けをしているのです。ご家庭の子育てでも、きっと同じであると思います。結果が現れないと、諦めてしまいたいと思う時もあるかもしれませんが、しかし、目標はそう簡単には実現しないことが当たり前。焦らず、諦めずに努力し続けることの大切さを、どうか保護者の皆さんからも伝えてください。頑張る子供たちを支えるのが、保護者の皆様、地域の皆様、私達教職員、つまり大人なのです。それぞれの立場で支え、後押しを続けることが大切です。本年も本校の教育活動にご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

タイトルの言葉、私の好きな言葉の1つです。60年にわたって国会議員を務め「憲政の神様」と言われた尾崎行雄先生の言葉です。何度も挫折を味わいながらも、「人生の本舞台は、常に将来に在り」と信じ、未来に本番が待っている、だから諦めずに、努力し続けていこう、と日本の政治を支えてくれた方です。

おめでとうございます！

- ❖ 東久留米市 図書館を使った調べる学習コンクール ❖
【タイトル】「断水 30 日を生きのびることができるか」
市長賞 6年1組
- ❖ 東久留米市人権尊重推進月間 人権作品受賞者 ❖
【ポスター部門】 優秀賞 4年1組
努力賞 4年1組
【標語部門】 優秀賞 5年2組
努力賞 5年1組